

リサイクルの
洋服・着物・家具
の安価販売!

リサイクル
リサイクル啓発の「まつやまRe・再来館」月刊紙

りっくるだより No. 226 (2021年7月号)

お手頃価格の
着物リメイク製品・手すき
葉書・ふすま張替

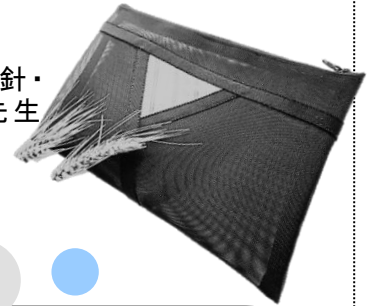
アロマで虫よけキャンドル作り

日時：7月3日(土) 13:30~15:30
内容：蚊が嫌うアロマオイルを
使ってみつろうでキャ
ンドル作り。
対象：小学生以上の親子
または大人
人数：12人
参加費：無料
持参品：軍手
締切：6/25(金)必着



古布で作るチュールバック

日時：7月18日(日) 10:00~14:30
内容：チュールで夏用インバッグ作り
対象：大人(ポータブルミシン経験者)
人数：6人
参加費：600円
持参品：裁縫道具・待ち針・
昼食(布・糸は先生
が用意)
締切：7/5(月)必着



ミシン活用術(布マスク)

日時：7月11日(日)
10:00~12:00
内容：足踏み職業ミシン
を使ってダブル
ガーゼで布マスク
作りに挑戦
対象：大人
人数：5人
参加費：300円
持参品：ごみ入れ・あれば糸切りハサミ
締切：6/28(月)必着



申し込み方法

来館、はがき、FAX(974-4024)、
メール(rikuru@cnc.e-catv.ne.jp)で
申込み
参加者全員の住所・氏名(フリガナ)・学
年・電話番号・イベント名を記入の上、
〒790-0054 松山市空港通 1-1-32
まつやま Re・再来館
「〇〇〇」係 まで



【 コロナ禍で食品ロスは減ったのか? 】

今年4月の政府の統計では、2018年には約600万トンの食品が廃棄され、276万トン(46%)が家庭系で、324万トン(54%)が事業系でした。600万トンという量は、東京都民全員の1年間分の食料に匹敵し、昨年9月の調査ではコンビニ1店舗当たりの年間食品売れ残り金額は平均468万円で、給与所得者の平均年収441万円を上回っていました。コロナ禍でステイホームが多かった今年はどう変化したのでしょうか? 某有名食品会社が、昨年と今年の7月に食材・食品の家庭内廃棄に関してアンケートを実施したところ、月に1~2回捨てていた人の割合が70.4%から61.9%に減っていました。また昨年の節分には、あるデパートの地下売り場で272本もの恵方巻が売れ残っていましたが、今年は予約販売の導入や仕入れ数の調整により完売する店舗が増え、調査した124店舗ではほとんどが売り切れでした。松山市でも今年4月末からスーパーフジ安城寺店にフードドライブが設置され、家庭で余った食品を受け取り、こども食堂や福祉施設などに寄付しています。

これらの変化は2015年に国連でSDGs(持続可能な開発目標)が採択され、一昨年には日本で食品ロス削減推進法が施行された影響が考えられます。食品を捨てるのは経費の無駄のみでなく、製造や運搬に伴うCO₂の排出増加にもつながるので、昨年時点で世界には6億9千万人も飢餓で苦しむ人々がいることを念頭に、官民挙げてこの食品ロス削減への加速を進めるべきでしょう。(高岸)

修理工房

7月3日(土)10~12時

<持込可能な家具の修理><網戸張替>

- ※ 申込方法・締切(6/25)・結果連絡方法は講座と同じ。事前申込が必要!
- ※ 家具実費/網戸張替実費(400円程度/網・ゴム持参は100円)

- ※ 講座・イベント等、申し込まれた方への結果連絡は、受講(参加)できる方のみとなっております。
- ※ りっくるだよりのバックナンバーは、HPで5ヵ月前まで閲覧できます。
- ※ facebookで日々のできごとを掲載しています!
- ※ ホームページ <https://rikuru.jp> (アドレス変更しました) からログイン!